

第14回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成26年11月26日 15時05分～16時17分

2 場所 県庁13階第1会議室

3 出席者

委員	宮城 委員 (委員長)	(欠席委員)
	富川 委員	
	泉川 委員	
石嶺 委員		
照屋 委員		
諸見里 委員 (教育長)		
教育 庁	統括監等	教育指導統括監、教育管理統括監、参事 2人
	課長及び 班長等	総務課長、教育支援課長、施設課長、学校人事課長 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課長、文化財課長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課教育企画監、同課教育企画班主任指導主事（3名）、同課 総務班班長、同班主査、同班主事 学校人事課小中学校人事管理監、同課小中学校人事管理班主幹 義務教育課副参事、同課副参事兼義務教育指導班班長 生涯学習振興課社会教育推進監、同課社会教育班社会教育主事
4 傍聴した者		
記者 2人 / その他 1人		

平成26年第14回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:05）

委員長	ただいまから平成26年第14回県教育委員会会議・定例会を開催します。 まずはじめに、議事日程の決定を行います。会期は本日1日とし、会議の順序等についてはお配りした日程案のとおりとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 次に、平成26年第13回会議録の承認を行います。泉川委員、お願いいたします。
泉川委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているとのことですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は、石嶺委員にお願いします。
石嶺委員	はい。了解しました。
委員長	次に、報告事項に入ります。 報告事項1「「美ら島おきなわ教育の日」制定記念式典開催結果報告」について、総務課から報告をお願いします。
総務課長	（報告事項1の説明） ・「「美ら島おきなわ教育の日」制定記念式典開催結果報告」
委員長	私は、教育長と照屋委員と出席しました。照屋委員はどのように思いましたか。子ども達の宣言が素晴らしかったですね。
照屋委員	小学生のうちから夢や希望をしっかりとって学校生活を送っていることに感動しました。小学生や中学生の皆さんに聞いて欲しかったので、より多くの小学生や中学生の参加があるといいと思いました。 今回は制定記念式典とのことでしたが、今後は11月1日にどのようなことを行うのでしょうか。
総務課長	教育の日は11月1日になりますが、その前後に教育の様々な取組を行っていかうと考えています。来年以降は、その日の前後1ヶ月を取組期間としていく予定です。 今年、10月31日に文字活字の日記念フォーラムやその前後に文化財愛護事業や産業教育フェアなどを行いました。県民が教育に関心を抱くような事業を計画的に実施し、市町村とも連携していければと思っています
照屋委員	産業教育フェアについて、以前は特別支援学校の販売もありましたが、こ

	<p>こ2・3年は展示ばかりで販売がありません。一般県民と県立の高校生のよい交流の機会ですので、販売も復活させてほしいです。年間で計画を立てれば授業で実施可能だと思いますので、是非企画に入れて欲しいと思います。</p>
委員長	<p>美ら島おきなわ教育の日の一環のイベントとしてということですね。</p> <p>小・中・高校生の宣言の1つ1つが心に伝わる言葉で感動しました。子ども達がそれぞれの将来の夢を語っていました。</p> <p>小学生は、図書館の司書になりたいという夢を持ち、そのためには何を勉強すべきかということ調べていたり、中学生は、地域の方々の暖かいまなざしにより伝統行事である旗頭保存会に参加しているということ語っていたほか、高校生のちゅらマナーハンドブックの取組についてなど、大人が思っている以上にしっかりしているという印象でした。</p> <p>子どもが現場でどのように考え、取り組んでいるか生の声が聞けて良かったです。今後もこのような取組があれば良いと思います。</p>
照屋委員	<p>教育関連の取組報告の中で、義務教育課の学力向上推進室長の、「子ども一人一人が宝物でダイヤモンドの原石である。磨けば必ず美しいダイヤになる」という言葉が印象的でした。</p> <p>また、生涯学習振興課の社会教育推進監の、朝食を食べている子どもが多数だが、少数の朝食を食べていない子どもに目を向けた取組が重要だという話も印象的でした。</p>
委員長	<p>教育長からも何かありますでしょうか。</p>
教育長	<p>教育の日を定め、周知することに意義があると思いますが、次年度から11月1日を起点に前後一ヶ月間でどういう形で展開できるかがこれからの課題になると思います。</p> <p>ただ、教育の日を制定したということだけでなく、内容を詰めていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>各課のプレゼンテーションのまとめ方が素晴らしく、短い時間でしたが内容がよくわかりました。ありがとうございました。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>では、次に報告事項2「平成27年度沖縄県公立学校教員候補者選考試験最終合格者の報告」について、学校人事課より報告をお願いします。</p>
学校人事課長	<p>(報告事項2の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成27年度沖縄県公立学校教員候補者選考試験最終合格者の報告」
委員長	<p>御質疑ございますか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>合格者の平均年齢は27歳ぐらいですか。</p>

学校人事課長	平均年齢は、例年その程度となっています。
委員長	先日、国頭地区の教育委員会の委員の皆さんと意見交換会を行った際に、採用試験に対する質問や要望がありました。 補充経験は採用試験の際に加点されていますか。
学校人事課長	今のところは、補充経験を加点する制度にはなっていません。
委員長	新任で、若く経験年数の少ない先生が僻地に配置され、在任期間も3年と短いため学校経営が難しいという話がありました。 その中で、優秀な教員の配置をしてほしいとの要望や、補充経験を加点してほしいといった要望がありました。
学校人事課長	現在は、補充経験は加点の対象となっていません。 初任者研修は法定研修となっているため、初任者は大規模校や中規模校に配置し、そこで十分な研修を受けて、その後の異動で、1度は離島・僻地を経験してもらうということになっています。 本県は離島・僻地が多いため、公平な形の人事異動を心がけたいと考えています。
泉川委員	同じ意見交換会で教員の資質の見極めについて話がありました。 新任で離島や僻地に経験の浅いまま異動すると、適応が難しく、また離島ですと、指導する中堅の先生が人事の関係で少なく、そのような環境の中で新任の先生を指導するのは難しいとの話がありました。 そこで、採用試験で、適応力についてもう少し選抜できないかとの話題があり、非常に難しい問題だと思いました。大学受験のセンター試験などのように、高得点の方から選抜するという形だけでは難しいと思います。 2次試験の面接において、一般企業ではグループ面接などで課題を提供して、コミュニケーションスキルや問題解決能力やリーダーシップを見ていると聞きました。 選考のあり方について、実践力やコミュニケーション能力や課題解決力などが見られるような複数の観点から選考試験を実施することについて研究していただけたらと思います。 点数という意味での能力については、この高い倍率を見ると問題がないと思いますので、別の観点から資質を見て選考してほしいと思いました。
教育長	私も同感です。これまで校長や先輩の先生方から学級経営や学習指導において、素晴らしい力を発揮されている臨任の先生がなかなか合格できないとの話を聞いています。 素晴らしい先生を採用できないのは残念であるとの校長の声があり、3・4年前に試験の見直しも行っていますが、これからまた研究していきたいと考えています。

照屋委員	<p>初任研のあり方について、いきなり学級経営をしながら新任研修を受けるというのは大変だと思います。指導教員も学級経営をしながら指導教員をするのは大変で、両者ともいっばいっばいな感じであると見受けられますので、初任研の在り方も考えていけたらいいと思います。</p> <p>最初は学級経営をさせずに新任研修に集中させ、副担任として、時々学級経営に参加するなどの他府県の取組を新聞等で見たことがあります。</p> <p>1年間はとりあえず研修に集中させるといった対策を検討していただけたらと思います。</p>
教育長	<p>様々な議論があり、そのような取組をしている県についても伺ったことがあります。</p> <p>初任のうちに指導教官をつけながら学級担任をするというのも1つのやり方だと思います。時代の流れや他府県の状況もありますから、これから検討させていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>これも意見交換会での話ですが、教員のメンタルの問題について話が出ました。ある学校では、1校で4人ほどいたとも聞き驚きました。</p> <p>ある教育長は、この問題の被害者は子どもであるとおっしゃっていました。</p> <p>教員としての適性を、選考の段階で検討してもらえないかとの話がありましたが、今年度の選考試験の面接はどのような内容でしたか。</p>
学校人事課長	<p>1人に対し複数の面接官が実施しており、小学校では、3人で面接を行い、模擬授業も実施しております。狙いをきちんと定めてやっているかといったことを確認しています。</p>
委員長	<p>特にどのあたりを見ていますか。</p>
学校人事課長	<p>面接では、教員としての目的意識や受け答えの仕方などを確認しています。</p>
委員長	<p>東京都では役割分担を決めたグループ面接があり、討論の様子も面接官が見ていると聞きました。沖縄県ではどのように行っているか気になっていました。東京都では、教員の資質だけではなく、グループでどのような役割を果たすかなど複数の視点で見ていると思います。</p> <p>今後の採用のあり方について、いじめ、メンタルや学級崩壊など様々な課題があると思いますので、検討してもらいたいと思います。</p>
学校人事課長	<p>庁内で議論していきたいと思います。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>では、次に報告事項3「沖縄県家庭教育支援推進計画(案)の検討状況報告」について、生涯学習振興課より報告をお願いします。</p>

生涯学習 振興課長	(報告事項3の説明) ・「沖縄県家庭教育支援推進計画(案)の検討状況報告」
委員長	御質疑ございますか。
富川委員	<p>計画案に異を唱えるというのではなく、計画を提出してほしいということを前提で話をします。</p> <p>不登校で学校に行けない子どもがいる家庭こそ、孤立無援で困惑していると思います。そのような家庭に対する支援が無いような感じもします。</p> <p>子どもはダイヤモンドの原石であるとあったように、企業ではお客第一主義、大学であれば学生第一主義であるというのが根本にあり、教育委員会なら子ども第一主義というのがあるべきで、教育弱者に対する支援が非常に重要だと思います。不登校を抱える家庭に対する支援策はどのように考えていますか。</p>
生涯学習 振興課長	<p>案の21ページ(4)②に記載していますが、訪問型家庭支援ということで、家庭に閉じこもり地域社会から孤立した様々な問題を抱える保護者や本人を含めた支援策として、チーム員が個別に家庭訪問する訪問型家庭教育支援というものがあります。</p> <p>支援内容は、支援員が個別に家庭を訪問し、家庭教育に関する情報誌の配布等による情報提供や、不安や悩みに対する相談対応、必要な行政機関への橋渡しなどが考えられます。</p> <p>この支援を実施するにあたっては、学校や保健福祉関係機関との連携した取組が必要となります。支援リーダーやその下で養成される支援アドバイザーや当該学校の先生が、チーム員として家庭訪問をして対応していきます。</p> <p>教育委員会での対応は、福祉部局で行っているように何かに対して補助を出すという対応とは違うため、関係機関やプログラムの紹介といった対応になってくると思います。</p>
照屋委員	<p>家庭教育支援推進計画についてですが、家庭は社会の縮図と言いますし、家庭教育は教育の原点であるため、大事だと思います。</p> <p>その中で、親のまなびあいプログラムについては、健常児をもつ家庭を対象としていると思います。特別支援学校に通っている子どもも兄弟に健常児がいれば、このような情報を得ることができると思いますが、兄弟が特別支援学校にしか通っていない家庭には、このような情報が中々行き届かないと思います。</p> <p>また、特別支援学校の児童生徒は地域から離れた学校に通っているため、地域から孤立している可能性もありますので、支援を必要としているところに行き届くような支援プログラムにしてほしいと思います。特別支援学校を拠点とするプログラムも入れてもらえたらいいなと思います。</p>

	<p>福祉部署では、福祉サービスの利用の仕方や手続の方法などの相談ができ、学校では、学校の指導内容の相談ができますが、家庭での生活習慣などを相談できる場所が中々ない状況がありますので、支援の漏れがないようにしていただきたいと思います。</p>
生涯学習 振興課長	<p>今回は1,500部を印刷し、特別支援学校も含めて、各学校に配布する予定です。</p> <p>学校ではPTA作業、地域ではお祭りのための調整等で集まる機会があると思いますので、そういった場を活用し、学校関係に関しては漏れが無いようにしたいと思います。</p> <p>現在8名採用しているリーダーの内訳については、2名は県の直接対応を予定しており、6名は各地区ごとの教育事務所に担当を1名ずつ配置し、各地区の市町村教育委員会の窓口と協力して、民生委員や地域連携担当教諭を通じ、例えば学校の担任から「子どもの身なりがいつも乱れている」などの情報提供があれば、学校のカウンセラーと相談して、必要があれば先ほど申し上げたように関係機関等と連携していきたいと思います。</p>
泉川委員	<p>家庭教育推進をする目的ということを考えると、『夢実現「親のまなびあい」プログラム』の中での、「夢」という言葉が大変キャッチーで印象的だと評価しています。</p> <p>「家庭教育支援推進計画」という名称については、ぱっと見た人が学力向上だけが目的と問題を矮小化する恐れがあります。そのように捉えられるとやった甲斐がなくなり、むしろやらない方がいいということで、弊害となる可能性もあります。</p> <p>沖縄を豊かにする人材育成のため、国内外に広く平和なりいろんな夢を実現する人材になってほしいという枠組みの中で、個人個人として夢をもってほしい、その夢をどう実現するかというノウハウや支援を得てほしい。それを基に実現してほしい。ただ夢を見るだけでなく、それをどう実現するかを含めて、自分で考え、周りとの協働して実現するんだという視点が、「夢実現」という言葉に現れていると感じるのでいいと思います。</p> <p>教育の日の設定にも関係しますが、「学力」という言葉には深くて広い意味があると思います。単に「テストの点を取って何番になった」というような一部の評価を全体として受けとめてしまう危険性もありますが、本来の意味の学力を高めるということであれば好ましいと思いますがさらに進めて「夢実現」ということであれば、「沖縄の子ども達に輝いて欲しい」だとか「夢を実現してほしい」だとか、そのための計画だという趣旨の中で、「家庭教育も大事です」というところを強調してもらえたほうが誤解がなくて良いと思います。</p>

生涯学習 振興課長	<p>わかりました。私たちとしては家庭教育における、「こうあるべき」というような姿については、フォーラムや事例発表会などを通して、問題を抱えている方、抱えていない方を問わず、講演会等を聞いてもらい、家庭で生かしてもらいたいと考えていますが、もう一方で、対症療法的に現に問題が起こったことに対しては、先ほど申し上げたような方法で対応するなど、双方の視点で対応したいと考えています。</p>
泉川委員	<p>今回のプログラムは熊本県のプログラムを参考にしているように思われますが、熊本県で取組が広がった大きな理由は、計画だけでなく、推進力を高めるために条例を制定したことだと思います。</p> <p>計画の中にも出てくるような、いろいろな学びの場が活用され、参加者が延べ1万人を超えているそうです。</p> <p>同じ計画を定めても同じ実績が得られるかはわかりませんが、計画は計画として大事だと思いますので、総合的な計画の枠組みとして位置づけるといいと思います。</p>
生涯学習 振興課長	<p>まさにご指摘があるように、資料案の19ページでは「目指す家庭教育支援の姿」という中で11番目に家庭教育支援条例（仮称）の制定をとりあげています。</p> <p>これについては、保護者の学び合い支援をやりながら、評価等の状況も見つつ検討に入りたいと考えています。</p>
照屋委員	<p>子ども達が規則正しい生活リズムを身につけるには、両親の仕事も関係してくると思いますし、仕事が終わって、食事をするのが9時頃という話もよく聞きます。広報啓発の中で企業との連携も必要との記載がありますが、具体的にはどのようなことを行う予定ですか。</p>
生涯学習 振興課長	<p>具体的にどのようなことで企業と連携するかについては、これから検討をしていく予定ですが、必要なことだと考えています。</p>
石嶺委員	<p>家庭支援において、広く小中高校で凡事徹底ということで広く普遍的な対応が記載されているため内容はよいと思いますが、18ページにあるようにいわゆる困窮家庭への対応が、家庭教育支援の課題として浮かび上がっています。</p> <p>それから、離島における島嶼性の問題で、自助努力だけでは家庭教育が難しい状況があります。広く普遍的なものも必要ですが、個別対応的なものについても対策を是非考えて対処していただきたいと思います。</p>
生涯学習 振興課長	<p>是非検討させていただきたいと思います。</p>
教育長	<p>19ページの11番の条例についてですが、家庭教育を県民運動として広がりを持って推進していくためには、条例も必要だと思います。これには県議会</p>

	を通したりといった手続も出てまいりますので、これから研究させてほしいと思います。これからの課題です。
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、審議事項に入ります。</p> <p>本日は、議案が2件となっておりますが、議案第2号は人事案件となっておりますので、非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>それでは、議案第1号「併設型B中高一貫教育校（仮称）に係る校名候補について」総務課から説明をお願いします。</p>
総務課長	<p>(議案第1号の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「併設型B中高一貫教育校（仮称）に係る校名候補」について
委員長	<p>本議案は、9月の定例会で開邦高等学校敷地内に平成28年度から設置する基本方針を決定した中高一貫教育校に関して、県立中学校の校名候補を3つの案から協議し、決定するものとなっております。</p> <p>各委員からご意見、ご質疑等があればお願いいたします。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>1位の開邦中学校がダントツで多いですね。</p>
総務課長	応募状況についても、529件のうち8割以上が開邦中学校がよいとなっております。校名検討委員会においても同じ結果となりました。
委員長	1位が開邦中学校、2位が開邦高等学校附属中学校、3位が開邦高等学校中等部となっておりますがいかがでしょうか。
教育長	応募状況の中でも開邦中学校がダントツ1位で、検討委員会でも1位となっておりますので、沖縄県立開邦中学校を推薦したいと思います。
照屋委員	私も校名検討委員会の順位を尊重して、開邦中学校がよろしいかと思いません。
泉川委員	開邦中学校でいいと思います。
委員長	それでは、教育長や委員の皆様からの意見を踏まえ、校名候補につきましては1番の「沖縄県立開邦中学校」としてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	<p>では、このとおり決定します。</p> <p>次の議案からは非公開案件となりますので関係者以外のご退出願います。休憩します。</p> <p>(傍聴者退室。以下は非公開部分のため省略します。)</p>